

## 全国学力・学習状況調査について

校長 藤田 貴久

全国学力学習状況調査(小山町と須走小)の学力・学習状況調査の分析結果が出ました。それと平行して本校の学力・学習状況調査を分析しました。その分析結果を説明します。

### 国語の成果

- 漢字の正しい読み書きはよくできている。(小山町も同様)
- ローマ字の読み書きもよくできている。(小山町も同様)

### 国語の課題

- 様々な情報をまとめたり、情報から選択したりすることが不十分である。(小山町も同様)
- 毛筆では、文字の配列や大きさに対する意識がうすい。

### 算数の成果

- 図形の分野の内容については概ね基礎的な内容は定着している。(小山町も同様)
- 整数の加法減法の基礎的な計算は身に付いている。

### 算数の課題

- 整数の計算はできるが小数が入った計算では小数の位置が理解できていない。
- グラフや式を読み取り根拠を持って説明することが苦手である。(小山町も同様)

### 質問紙から

- ・家庭では家族に学校の様子を話している。・寝る時間が様々である。
- ・家でテレビやゲームをしている時間が多い。
- ・家庭学習に費やす時間が少なく塾(習い事)に費やす時間は多い。
- ・困難なことへの挑戦意欲はあるが、自分の良さを見つけられない子も多い。
- ・宿題をやらない子も多い。・きまりを守る意識がうすい子がいる。
- ・教師に好意的である。・友達の前で自分の考えを言うことに苦手意識を持っている。

## 本校のこれからの取組

全国学力・学習状況調査の結果を深く受け止め、これまでの子ども一人一人を大切に授業をさらに進めていくとともに、教員一人一人の授業力の向上をさらに進め、教員一人一人が質の高い授業をしていく意識をもつようにしていきます。

以下にこれからの取組を述べさせていただきます。

- ・子どもの思考、問題意識を大切に授業を推進。
- ・1時間の授業の中で何を学んだかを子どもにはっきりとわかるようにしていく。
- ・子どもの思考を助ける板書していく。
- ・自分の考えを練り発言する時間を確保する。
- ・各クラスに配備している国語辞書をいつの時間も活用して語彙力や漢字力をつける。
- ・音読、計算、書き取りのような反復練習が必要なものについては定着させる。
- ・がんばりカードを活用し、テレビやゲームの時間を減らすよう家庭と連携する。
- ・読書活動を見直し、より読書に親しむようにしていく。